

事業所名

ひまわりのたね ひなた園

支援プログラム

作成日

2025年

3

月

17日

法人（事業所）理念		障害有無にかかわらず、一人ひとりの成長を尊重し、支援を通じて自立を促すこと。 地域社会と協力し当事者の育成に貢献すること。誰もが安心して過ごせる居場所を環境し心の成長を促すこと。										
支援方針		好きなことはより好きに・得意なことはより得意に										
営業時間 サービス時間		8 10	時	45 00	分から	17 16	時	45 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
対象児		0歳・1歳・2歳児 ひよこぐみ			3歳児 りすぐみ (年少クラス)			4歳児 きりんぐみ (年中クラス)			5歳児 ぞうぐみ (年長クラス)	
本人 支援	健康・生活	ひとりひとりの体質的特徴・健康状態の把握に努める。 手洗いを指導員と一緒にこなす。 通園を通じて、生活リズムを整える。			視覚的な援助と繰り返しの経験で、基本的な生活習慣を身につけていく。 トイレに座ることに慣れる。 自分の持ち物を認識する。			手洗い・トイレ・お支度・お着替えなど、可視化を通じ、自分でできることに取り組んでいけるよう支援する。 避難訓練の大切さを知る。			手洗い、うがい、消毒の大切さを知る。 着替えなどの基本的な生活習慣の定着を支援する。 指導員や友達との安定した関係の中で共に過ごすことの喜びを味わう。	
	運動・感覚	公園内を歩いたり、外遊びで思いっきり遊ぶことにより、全身運動を活発にできるよう支援する。 水・絵の具・泥・粘土などの感触に触れる			指導員やお友達と、手をつないで歩く楽しさを知る。ジャンプをする。 水遊び・落ち葉遊びなど、季節ごとの代表的な遊びの感覚を楽しむ。			走る・ジャンプする・バランスを取るなどの運動を積極的に取り入れる。 ボール遊びを楽しむ。 指を使い、糊を塗る、絵の具を塗る等を楽しむ。			お友達とのごっこ遊びを楽しむ。 集団で遊ぶことの楽しさを知る。 人との距離感を知る。	
	認知・行動	名前を呼んで接していくことで、名前を認知できるように支援していく。指導員に親しみをもち、季節ごとの遊びを楽しむ。			自分の荷物の出し入れをする。 自分の靴を認識する。 行事に参加する。			お友達の名前に興味を持つ。数字に親しむ。 アラームやカウントダウンで活動の切り替えができるよう支援していく。			指導員やお友達の名前を呼ぶ。 お当番活動に取り組む。	
	言語 コミュニケーション	指さし、身振り、クレーン、片言などの伝えたい思い・要求をくみ取る。 絵本・歌・手遊びを楽しむ。			いろいろな歌や絵本・手遊びを一緒に楽しむ。 ご挨拶をする。 手伝って欲しいことを言葉、身振り・手振りでも伝える。			朝の会で名前を呼ばれたら手を挙げる、返事をする。 手伝って欲しいときに、自分から発信をする。			日常生活の中での会話を楽しみ、コミュニケーションを図る。 小さなお友達に優しく接する。	
	人間関係 社会性	小集団で過ごすことに慣れていけるよう、環境を整えていく。 手をつないで歩くことに慣れる。			担任やお友だちの顔や名前を知り親しむ 一緒にお弁当を食べる楽しさを知る。 年上のお友達と手をつないで歩く。			友達に親しみをもち、安心してのびのび過ごす。 当番活動を覚え、友達と協力しながら行う楽しさを味わう。			お友達同士で手をつないで歩く。 交通ルールや、遊びの際のルールについて、知っていく。	
家族支援		家庭や園での様子を丁寧に伝えあうことで、保護者とのコミュニケーションを十分に図り安心してもらうように支援していく。 保育参観等の行事を通じ、保護者同士の交流の場を設ける。相談しあえる体制の構築。					移行支援			・たくさんの行事を経験し緊張感が軽減できるよう、就学を迎えられるように援助する。 ・入学後、安心して過ごせるよう保幼小児関係連携及び引き継ぎ会を行なう		
地域支援・地域連携		あいう子育て支援センター・相談支援事業所・障害福祉課・子育て支援課・川口市小学校（特別支援学級）埼玉県立川口市特別支援学校、保育所・幼稚園訪問・埼玉県立小児医療センター・済生会川口総合病院・川口市医療センター					職員の質の向上			報告・連絡・相談共有、他園連携クラス研修・プログラム・会議障害・BCP研修・新人研修、療育にかかわる支援研修、外部研修参加		
主な行事等		遠足・プール（6月～9月）・運動会・作品展・保育参観・保護者会・引き渡し訓練・避難訓練・卒園式										